



「第8回マルチGNSSアジア(MGA)カンファレンス」が、2016年11月14日～11月16日、フィリピン・マニラにて開催されました。当社はカンファレンスのゴールドスポンサーを務めさせていただき、研究発表とブース展示を行いました。

MGAカンファレンスは、GNSSソリューションについてのビジネスネットワーキングや研究発表の場として、アジア・オセアニア地域で毎年開催されています。参加者は年々増加しており、今回は23の国から254名の参加があったと発表されています。

カンファレンスでは、「災害対策管理」、「位置情報サービス」、「ITS」、「精密測位」などのセッションが開催され、様々な内容の発表がありました。当社からは、研究開発知財本部の市川 裕貴が、「**Inconsistency between Maps and Satellite Positioning results caused by Crustal Movements (地殻変動による地図と衛星測位の不整合)**」について発表を行い、参加者の方々から高い評価をいただきました。

ブースでは、**準天頂衛星/GNSSシステムの評価キット「GNSS-Explorer」**、及び**経済産業省 商業・サービス競争力強化連携支援事業「準天頂衛星信号を受信する高感度アンテナを利用した高精度測位システムサービス事業」**にて、昨年度より実施中プロジェクトに関する展示を行いましたところ、特に開発中「L1/L5信号対応高感度小型アンテナ」は、海外の方々からも高評価をいただきました。

今回のカンファレンスは、多くの方々当社独自の最新技術や取り組みを知っていただく良い機会となり、今後もQZS/GNSS衛星測位に関する調査・研究を継続し、製品開発並びに技術の普及による社会貢献を目指して活動してまいります、御期待下さい。



MGAカンファレンス会場外観



アイサンテクノロジーのブース



当社研究発表

#### 【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対する、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。